

2026年

NPO（特定非営利活動法人）MCEI 総会資料

東京支部 2026年6月22日（月） 日本橋浜町Fタワーホール

大阪支部 2026年6月11日（木） ふれあい貸し会議室 梅田 No128

議事事項

- 議案1. 2025年度東京支部・大阪支部 活動報告
議案2. 2025年度東京支部・大阪支部 収支計算書
議案3. 2025年度NPO・MCEI 決算報告
 (1) 事業報告書
 (2) 活動計算書
 (3) 貸借対照表
 (4) 財産目録
議案4. 監査報告書
議案5. 2026年度東京支部・大阪支部 活動方針
議案6. 2026年度東京支部・大阪支部 収支予算書



TOKYO / OSAKA

◆ MCEI 東京支部

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-10-3 丸宗ビル4階
TEL : 03-6661-1013 FAX : 03-6661-1012

◆ MCEI 大阪支部

〒600-8108 京都市下京区五条通新町西入西鋸屋町25番地 つくるビル
(株式会社ISSO内)
TEL : 075-352-1661

議案 1. 2025 年度 東京支部・大阪支部 活動報告

[1] 東京支部活動報告

2025 年度は、下記 4 つの基本方針を立案。

1. MCEI 独自価値づくり

- ・実務家集団として、「実践」「協創」「リアルを大切に活動を展開
- ・MCEI 提言については、引き続き MCEI の象徴として内容を進化
年間の通常業務化・常にヒントが集まる工夫と、それをもとに構成
※理事会、未来推進委員会、百人百語、定例研究会、ビジネススクール、サロンなどからのキーワードを活用
- ・2024 年度に整理した「独自価値・5 つの基本認識」の更なる実践での具体化
定例研究会をはじめとする MCEI 諸活動で取り上げ、会員への認知拡大と事例との出会い
の場を多くつくる・ルートに敏感になる意識の向上をはかる

2. MCEI ファン層の拡大

- ・昨年度、ファン層の母数は 42 人に増加（前年度 34 人）。
このベースに対し、成果をあげるため、さらに活性化していく。
 - +MCEI 諸活動へ、より積極的な参加→複数のカリキュラムへの参加者が増加
 - +MCEI 運営に参画
 - +ファン層の社内の方々の巻き込み
 - +ファン層の社外の方々へ MCEI の周知、参画

3. 情報発信強化

- ・Facebook、X 他で毎月の定例研究会やビジネススクールの活動を随時発信。
10 月 20 日発行の「学生新聞」に広告出稿のタイミングでホームページ閲覧数も急増するなど、一定の効果を見せた。

4. 中期方針の成果に向けて

上記 1~3 を成果レベルに引き上げ、それぞれの KPI の向上と KGI (会員数) 増加をはかる

<基本方針の振り返り>

1. MCEI 独自価値づくり

基本方針の実践事例を毎月の定例研究会（資料参照）で実行し下記の [5 つの基本認識] にまとめあげた。今後の MCEI の各種催しに取り入れ、さらに充実させて MCEI 独自価値を強固なものにしていく。

[5つの基本認識]

- * 「MCEI 提言」の実践活用
- * 「マーケティングは経営そのもの」(書籍『プロフェッショナル・マーケター』守口剛氏整理)
- * 今注目のテーマ「社会課題をビジネスで解決」
(例)「社会記号」「市場創造記号」 新しいニーズや行動言葉化して需要可視化
- * 「協創プラットフォーム MCEI」の強化
多彩な事業会社間での協創、事業会社とスキル提供会社との協創、事例収集・発信
- * マーケティングコミュニケーション・「コミュニケーション」の重要性が高まる

2. MCEI ファン層の拡充

25年度は定例研究会をすべて対面形式で実施。若者層の参加が圧倒的に増加した。参加率(申込者と実参加者の割合)が非常に高く、講演後のコミュニケーションサロン(参加料1,000円飲食込み)への参加率も高く、参加者同士の活発な会話・議論が行われた。また、ファン層+ファン層候補者の実数も、25年度当初と年度末比で増加した。

3. 情報発信強化

MCEI 活動内容の発信は、Facebook や X (旧 Twitter) を活用して行い、発信数に関してはこだわりを持って進めた。しかしながら成果についてはまだまだ未知数。

4. 中長期計画の実践と成果

上記の基本方針1~3についての成果として、「成果」レベルではこれからという状況だが、実践の方向性は見えつつあるため、その成果に向けて知恵を出していく。毎月の理事会での「KPI」としてP-D-S (Plan-Do-See) は継続させる。

【KGI】

	23年度	24年度	25年度
法人会員社数	56	55	59
個人会員人数	19	23	26

【KPI】

	23年度	24年度	25年度
定例研究会参加数	531	490	420
ビジネススクール受講者数	18	14	17
キーマンファン層候補者数(理事候補)	—	16	26
ファン層数	—	18	16
ファン候補者数	—	43	32

[2]各委員会の活動報告

(1) 未来推進委員会

前年度と同様に中長期計画の課題解決と成果に向けた下記項目を議論を実践し、理事会に答申した。

- ・ MCEI 提言の活性度——作成プロセス・実践事例収集など
- ・ 定例研究会の活性化——コンテンツ充実・参加者の広がり促進
- ・ 協創プラットフォームの整備と充実→事業会社+スキル提供会社の組み合わせ
- ・ エンゲージメントステップアップ—その仕組づくりとファン層の拡大シナリオづくり
- ・ 新会員獲得——会員社からの紹介が主。情報発信の強化が課題
- ・ 情報発信強化——LinkedIn など新規媒体の検証・頻度や活性度

(2) ナレッジワーク委員会

- ・ ビジネススクール

25 期受講生 14 名（目標 25 名）、26 期受講生 17 名（目標 18 名）

前期から実施している「講演+PBL 型学習」を、内容を充実させて継続した。

(3) コミュニティ（会員の自主活動）

「会員各位の様々な期待と MCEI 機能とのマッチング、および会員間のコミュニケーションの活発化」を目的とした活動の場を提供

- ・ 「MCEI サロン」を毎月実施。会員同士の交流を通じて、MCEI への積極参加、活性化を促進した。
- ・ 会員からの紹介で定例研究会や MCEI サロンへ取引先などを招待し、MCEI の活動周知と入会勧誘を推進した。

(4) 百人百語

2025 年は投稿者 82 名と 100 名に未達。26 年度も 12 月末に発行予定。

(5) 重点活動

① AI 活用

1) AI 活用マーケティング実践プログラム（全 2 回）

MCEI 会員企業有志 9 社・11 名が受講。下記を実施した。

9 月にオンライン講義、10 月に 1on1 ミーティングを実施。

- ・ 消費者の共感を引き出す AI クリエイティブの作成と評価
- ・ 日常業務の活用シーンと社内浸透の可能性/課題の整理

2) AI 活用よろず相談会

9月定例研究会での講演を経て、社内でのAI活用に課題のある会員を対象とした相談会を企画した。(実施は26年4月～7月)

② ウェルビーイング マーケティング

4月・5月・7月の定例研究会での経験から、MCEIとしてマーケティングコミュニケーション領域に「ウェルビーイング」の視点を組み入れた「ウェルビーイング マーケティング」に注力し、その実践スキルの開発をリードすることは重要であると認識。

また、MCEIの「5つの基本認識」に強い相関があると判断し、コミュニティを立ち上げた。「ウェルビーイング発想のマーケティングを語りあう会」第1回を8月に実施。

フィンランドの実践事例紹介と参加者同士の対話、意見交換を行った。

【実施記録 6～7ページ参照】 【収支計算書 10ページ参照】

(6) 国際

5月、ジュネーブ支部のホール理事長をはじめとするメンバーが大阪・関西万博の見学で来日。東京支部理事会有志と新宿京王プラザホテルで会合を行った。

リーマンショック以降、各国支部が集まるカンファレンスがストップして国際交流が長らく阻まれていたが、互いの活動報告や会員同士の情報交換などを通じて有意義な時を共有することが出来た。

(7) 表彰

<2025年度表彰>

イノベーター・オブ・ザ・イヤー (I. O. Y.)

「ベストプラクティブの宝庫・キーパーソンセンターのMCEI東京支部」が2022年に立ち上げた表彰制度。予測困難ともいわれる現代社会で、様々な領域の社会課題の解決に向けてイノベーションを起こし、世の中に新たな価値創造と今後のマーケティングコミュニケーションの革新に挑戦している人財を讃える。

【2025年度受賞者 (2名)】

齋藤潤子氏

ランスタッド株式会社

マーケティング&ブランドコミュニケーション本部 コミュニケーション室長

MCEI 東京支部理事

山口祐子氏

株式会社オノフ

取締役 COO 営業本部本部長 兼 戦略デザイン本部本部長

受賞理由：「ウェルビーイング×マーケティング」という可能性の入り口に挑戦を示し、定例研究会および分科会での講演や発信活動を通じて、MCEI 会員に新たな認識とそれぞれの社内外へのアプローチに改革をもたらした。

以上

MCEI 東京支部 2025 年度研究会実施記録

◆定例研究会◆				
月日	テーマ	会社名・所属名・役職	講師	出席
2025年 4/17	明日からの行動が変わる！自分アップデート術	ココヨ(株) ワークスタイルイノベーション部 働き方改革プロジェクトアドバイザー MCEI 東京支部理事	坂本崇博氏	39
5/29	従業員価値提案(EVP)から学ぶ顧客理解と価値創出	ランスタッド(株) マーケティング&ブランドコミュニケーション本部 コミュニケーション室長 MCEI 東京支部理事	斎藤潤子氏	48
6/24	特別講演&懇親会「MCEI 提言 2025」	MCEI 東京支部 理事長 日本製紙クレシア(株) 常務取締役 MCEI 東京支部 専務理事兼事務局長	高津尚子氏 宮地雅典氏	51
7/29	ウェルビーイング発想のマーケティング～人の幸せを軸に共感と信頼を生む”新しい価値創造”とその実践～	ランスタッド(株) マーケティング&ブランドコミュニケーション本部 コミュニケーション室長 MCEI 東京支部理事 (株)オノフ 取締役 COO 営業本部本部長 兼 戦略デザイン本部本部長 (株)アドバンテッジリスクマネジメント 人事部 人事企画課 課長/健康管理部 課長 ココヨ(株) ワークスタイルイノベーション部 働き方改革プロジェクトアドバイザー MCEI 東京支部理事	斎藤潤子氏 山口祐子氏 神原 学氏 坂本崇博氏	28
8月	休止			
9/17	IT 人材不足時代に勝つ！AI×DX の最前線と、企業が今やるべき改革とは	AI ストーム(株) 代表取締役 MatBrain(株) 代表取締役 工学博士 (株)テーブルクロス 代表取締役	今井俊夫氏 進藤裕之氏 城宝薫氏	40
10/15	ファンマーケティングの重要性～「なんとなく消費」では持続しない～	(株)光文社 常務取締役 メディア・ライツビジネス局 花と緑の研究所(株) 代表取締役社長 MCEI 東京支部常務理事	大給近恵氏 後藤昭人氏	35
11/13	日本版リテールメディア メーカーと小売りの協創～ID が繋ぐ新たな顧客体験の提供～	グローリー(株) 国内カンパニー営業本部 DX ビジネス推進統括部 DX ビジネス推進部 グループマネージャー カスタマーサクセス SP	松井 悠氏	37
12/16	無人決済店舗の未来 ～TOUCH TO GO の実績と新たな挑戦～	(株)TOUCH TO GO 代表取締役社長	阿久津智紀氏	24
2026年 1/28	異業種共創の新しい形への挑戦～『「 」& WORKPLACE CONSORTIUM』の取組みから～	ココヨ(株) ワークスタイルイノベーション部 イノベーションデザイナー MCEI 東京支部理事	坂本崇博氏	20
2/25	AI が仕事の相棒になった今、マーケターは「人」との協創の場で進化する～“つながり”が価値を共鳴させる。MCEI で実践知を共有し、行動を起こそう！～	MCEI 東京支部理事長 日本製紙クレシア株式会社 常務取締役	高津尚子氏	59
3/18	賢賢消費に潜む消費のヒント 生活者の暮らし～今とこれから～	(株)インテージ RI 部 生活者研究センター センター長	田中宏昌氏	39
	計 11回 (昨年11回)	参加合計420人 1回平均38.2人 (昨年度:490人 1回平均44.5人)		

◆第25期ビジネススクール◆

月日	テーマ	会社名・所属名・役職	講師
12/4	プレ講座「マーケティングの基礎を学ぶ」	日本大学 商学部専任講師	河股久司氏
1/22	本質的解決策に迫るビジネス思考法 フレームワークと思考法実践	早稲田大学商学大学院 教授	守口剛氏
2/12	冷凍食品のマーケット拡大に向けたニチレイの取り組み	(株)ニチレイフーズ ライン&マーケティング戦略部 部長 (兼マーケティング部長)	奥村剛飛氏
3/12	百貨店のあくなき挑戦！大きく変わる新宿西口の中で	(株)京王百貨店 取締役 営業政策部長	大江弘祥氏
4/10	ハーゲンダッツのブランド戦略	ハーゲンダッツ ジャパン(株) マーケティング本部 マネージャー	北山直子氏
5/21	課題先進地域に学ぶメーカーと小売業の価値協創 ～近未来日本の社会課題解決に向けて 2025～	(株)Believe-UP 代表取締役	信田洋二氏
6/11	PBL 中間発表		
6/18	ファンコミュニティのマーケティング活用 その理論と実践	(株)光文社 取締役 メディアビジネス局・マーケティング局	大給近憲氏
7/16	掛け算から生まれるイノベーションとマーケティング	ピップ(株) 取締役 CMO EC 事業部、海外事業部、マーケティング本部担当	久保田達之助氏
8/20	PBL 発表会		

◆第26期ビジネススクール◆

月日	テーマ	会社名・所属名・役職	講師
12/3	26期ビジネススクールの概要+マーケティング基礎講座	日本大学 商学部准教授	河股久司氏
1/21	本質的解決策に迫るビジネス思考法 フレームワークと思考法実践	早稲田大学商学大学院 教授	守口剛氏
2/18	ハウスウェルネスフーズの商品開発・マーケティング事例	ハウスウェルネスフーズ(株) 国内事業部 製品企画開発部 部長	片倉一樹氏
3/11	大きく変わる新宿西口の中で 百貨店のあくなき挑戦！ ～電鉄系百貨店の生き方～	(株)京王百貨店 取締役 営業統括室長、営業政策部長	大江弘祥氏
4/10	ハーゲンダッツのブランド戦略	ハーゲンダッツ ジャパン(株) マーケティング本部 部長	前田卓哉氏
5/20	課題先進地域に学ぶメーカーと小売業の価値協創 ～近未来日本の社会課題解決に向けて 2026～	(株)Believe-UP 代表取締役	信田洋二氏
6/10	消費者が深いファンになっていくコミュニケーションづくり	(株)光文社 常務取締役 メディア・ライツビジネス局	大給近憲氏
7/8	掛け算から生まれる イノベーションとマーケティング	ピップ(株) 取締役 CMO 海外事業部、マーケティング本部、プロダクト本部、お客様相談室担当	久保田達之助氏
8/19	PBL 発表会		

[3]大阪支部活動報告

<MCEI 大阪支部 2025 年度活動報告、及び収支報告>

2025 年度の MCEI 大阪は、「対話」を年間テーマに掲げ、企業・顧客・地域社会との新たな関係性や価値創出を探る活動を行ってまいりました。リアル会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催も定着し、多くの皆様のご協力のもと運営を継続することができました。特に、年間を通じて会場をご提供いただいた 情報工房様に深く感謝申し上げます。

昨年度は、「ブランド」「ファンコミュニティ」「地域文化」「食」「サステナビリティ」「万博レガシー」など、多彩なテーマを取り上げました。堀内果実園による 6 次産業化、下間都代子氏によるスピーチカ、水口ゼミナールでのアシックスブランド誕生秘話など、多様な視点から学びを深めました。

また、カルビー「堅あげポテト」のファンコミュニティ戦略、阪本啓一氏による“絆を耕すマーケティング”、ネットヨタニューリー北大阪の小西敏仁氏による「共感消費」、グンゼ「アセドロン」のマーケティング戦略、日経 BP 総合研究所・品田英雄氏によるヒット商品分析など、企業と生活者との新たな関係づくりについて考える機会となりました。

さらに、アライドコーヒーローズスターズ神戸工場での野外研修、京都・半兵衛麩での研修、ミナト 湊浩氏、TOPPAN エッジ 藤原徹氏、JR 西日本 SC 開発出口清史氏による講演などを通じ、食文化、環境、SX・GX、万博レガシーについても理解を深めました。

また、大阪・関西万博の開催にあわせ、MCEI ジュネーブ、MCEI 台北のメンバーの皆様が来阪され、国際交流を深める貴重な機会ともなりました。年間を通じ、多様な分野の実践者との“対話”を重ねた一年となりました。

2025 年度の定例会の参加者数は一覧表をご参照ください。会員数は今年も増減がありましたが、法人会員個人会員ともに増加し、最終的に法人会員 7 社（前年度 2 社増）、個人会員 9 名（前年度 2 名増）シニア会員 5 名となりました。定例会参加者は、前年比では微減という結果になっておりますが、1 定例会あたり 30 名を保持しており、2024 年度に続き、高い水準を保っていると考えられます。

続きまして、2025 年度の収支に関してご報告いたします。会員が増えたことで収入が 10 万円以上伸びました。また、多少の増減がありましたが、概ね予算内で運営ができ 26 万円の剰余金を出し、繰越金を 71 万円にすることができました。これで安定的な運営を継続することができます。これもひとえに支えてくださっております会員の皆様のおかげです。

【実施記録 9 ページ参照】 【収支計算書 11 ページ参照】

大阪支部定例研究会 実施内容(2025 年度開催 12 回)

年	月	テーマ	講師	出席者数		
				第 1 部	第 2 部	
2025 年	4 月	堀内果実園のこれまでとこれから	株式会社 堀内果実園 取締役 堀内 奈穂子氏	29	14	
	5 月	惹きつけるスピーチ力とプレゼンテーション	下間都代子コミュニケーション研究所 代表 下間 都代子氏	38	16	
	6 月	カルビー「堅あげポテト」 ファンコミュニティで成果を最大化するマーケティング戦略	カルビー株式会社 マーケティング本部 堅あげポテトチーム 山本 千夏氏	48	18	
	7 月	届かない時代に 一絆を耕すマーケティング	株式会社 JOYWOW 代表取締役 阪本 啓一氏	31	15	
	8 月	【野外研修】 コーヒー業界から見た、新たな環境対策ビジネスモデル	アライドコーヒーローズ株式会社 森木 公朗氏 石光商事株式会社 三池 萌子氏	19	12	
	9 月	共感消費が未来を変える「ファン」の力でつくる 温かいコミュニティ	ネットヨタニューリー北大阪株式会社 代表取締役社長 小西 敏仁氏	24	12	
	10 月	グンゼ「アセドロン」“2 年目のジグズ”を 乗り越えたマーケティング戦略	グンゼ株式会社 アパレルカンパニー 営業 MD 本部 商品企画部 日和 崇氏	34	15	
	11 月	不安と不透明な時代に求められるものとは何か。 ～2025 年のヒット商品から見えるもの	日経BP 総合研究所 客員研究員 品田 英雄 氏	36	12	
	12 月	【野外研修】 なすびの花～代々受け継がれてきた訓え～	株式会社半兵衛麩 代表取締役社長 玉置 剛 氏	22	21	
	2026 年	1 月	美食(おいしい食)とサステナブルな食・社会の 実現	株式会社ミナト 代表取締役 湊 浩 氏	41	20
		2 月	EXPO 酒場からどのような文化レガシーが 残ったか。	JR 西日本 SC 開発株式会社 未来価値創造部 部長 / 文化プログラムプロデューサー 出口 清史 氏	24	12
		3 月	みんなのカーボンオフセット®』が生む価値・ 共創、TOPPAN の伴走支援 ～SX・GX テーマで悩んでいる方、一緒に解決 していきませんか?～	TOPPAN エッジ株式会社 ビジネスイノベーションセンター SX ビジネス開発部長 藤原 徹 氏	34	17
計 396 人(1 研究会あたり 33 人)				(昨年度:406 人<34.1 人>)		
第 2 部(懇親会)参加者総数:196 人(1 回あたり 16.3 人)				(昨年度:202 名(1 回あたり 16.8 人))		

水口ゼミナール(第 14 回)

年	月	テーマ	講師	出席者数	
				第 1 部	第 2 部
2025 年	4 月	「ブランドが生まれる処 ～アシックスブランドの誕生秘話～」	元株式会社アシックス 専務取締役 植月 正章 氏	16	12
計 16 人				(昨年度:21 名)	

議案 2-1. 2025 年度東京支部・収支計算書

<東京支部(2025年4月1日～2026年3月31日)>

*MCEI内部では使い慣れた西暦を使うが、官公庁提出用には元号を使う。

収 入			
I. 一般会計		【'25実績】	【'25予算】
年会費	法人59社	11,049,990	11,400,000
	個人26名	1,255,000	1,500,000
特別会費	納会個人	0	0
	コミュニケーションサロン	319,000	400,000
	MCEIサロン	72,000	100,000
事業収入	定例研ビジターフィー	54,000	30,000
出版収入	百人百語販売	0	0
大阪支部 (相殺)	百人百語代	16,000	15,000
	総会資料代	0	0
その他収入		0	0
一般会計合計		12,765,990	13,445,000

II. プロジェクト別会計		【'25実績】	【'25予算】
ビジネススクール(第26期)		3,366,000	3,564,000
価値協創実践研究会		0	0
プロジェクト別会計合計		3,366,000	3,564,000

III. その他		【'25実績】	【'25予算】
早稲田CMOプログラム 業務委託		4,100,000	
国際マーケティング会議		0	0
書籍収入(プロフェッショナルマーケット)		0	0
雑収入(未払金戻り他)		26,601	0
受取利息		28,480	0
その他合計		4,155,081	0

I～III総計	20,287,071	17,009,000
---------	------------	------------

【東京支部計算書の説明】

■収入の部

I. 一般会計

会費収入 25年計画: 法人60社、個人27名
25年実績: 法人59社、個人26名

II. プロジェクト別会計

ビジネススクール: 計画18名⇒実績17名

III. その他

早稲田CMOプログラム 受講生勧誘協力費 110万円
同 講演資料教材監修費 300万円

■支出の部

I. 一般会計 その他

法人税 早稲田CMOプログラム受託業務が法人税法の「請負業」にあたり
課税対象となるため

*その他 早稲田CMOプログラム支出

講演録原稿作成料 支払代行 15名分 1,669,194円
講演録冊子作成代 69,203円

支 出			
I. 一般会計		【'25実績】	【'25予算】
定例活動			
納会		0	0
コミュニケーションサロン		33,451	50,000
MCEIサロン		19,105	30,000
理事会・委員会		39,476	50,000
定例研究会		861,890	1,000,000
百人百語		280,500	350,000
国際		0	0
広報		0	0
ホームページ		627,000	650,000
定例活動合計		1,861,422	2,130,000
会維持・運営			
旅費交通費		16,700	20,000
事務用品費		58,679	100,000
印刷費		298,848	300,000
通信費		296,225	350,000
税理士報酬		314,268	315,000
雑費		92,120	100,000
新聞図書費		0	0
書籍購入費		0	20,000
消耗品費		31,879	50,000
賃借料(コピー機)		45,540	50,000
会維持・運営合計		1,154,259	1,305,000
事務局費			
法定福利費		727,140	800,000
委託費		0	0
交通費		408,046	370,000
家賃(含水道光熱費)		1,887,258	2,000,000
役員報酬		2,100,000	2,100,000
給料		4,320,000	4,320,000
事務局費合計		9,442,444	9,590,000
その他			
寄付金		0	0
租税公課(仮払い消費税他)		153,600	100,000
法人税		482,200	0
その他合計		635,800	100,000
一般会計合計		13,093,925	13,125,000

II. プロジェクト別会計		【'25実績】	【'25予算】
ビジネススクール(第25期)		0	0
ビジネススクール(第26期)		862,860	1,000,000
イノベーターズワークショップ		0	0
価値協創実践会		0	0
プロジェクト別会計合計		862,860	1,000,000

III. その他		【'25実績】	【'25予算】
早稲田CMOプログラム 支出		1,738,397	
国際マーケティング会議		0	0
新理事長就任関係		6,140	200,000
MCEI案内パンフレット		0	50,000
その他合計		1,744,537	250,000

IV. 予備費		【'25実績】	【'25予算】
予備費		0	1,000,000
予備費合計		0	1,000,000

I～IV総計	15,701,322	15,375,000
収支差額	4,585,749	1,634,000
前期繰越金	5,802,822	5,802,822
次期繰越金	10,388,571	7,436,822

議案 2-2. 2025 年度大阪支部・収支計算書

<大阪支部(2025年4月1日～2026年3月31日)>

収 入	
-----	--

支 出	
-----	--

I. 一般会計

	【2025年実績】	【2025年予算】
年会費法人	1,012,500	900,000
年会費個人/シニア	570,833	545,833
ゲスト参加費	226,116	300,000
水口ゼミ参加費	16,984	26,400
第2部参加費	167,500	100,000
受取利息	2,224	0
総計	1,996,157	1,872,233

【大阪支部収支計算書の説明】

■収入の部

- ①年会費 法人7社(2社期中入会)
個人9名(2名期中入会)
シニア5名(1名個人→シニアに変更)

- ②ゲスト参加 53名(会場:一般35名 学生0名
OL:一般18名 学生0名)

■支出の部

- ①今期は会員発表が3名あったこともあり、全体予算は抑えることができた。
- ②多少の上がり下がりがあったが結果的に予算を下回り、会員増もあり、まとまった繰越金を残すことができた。
- ③ゲスト参加常連の方の会員化もあり、のべゲスト数は前年と比べて減少した。

I. 一般会計

	【2025年実績】	【2025年予算】
理事会・委員会		0
定例研究会 (講師費用)	294,333	422,218
定例研究会会場費ほか	107,616	100,000
講演録製作費	0	0
第2部費用 (おつまみなど)	157,955	90,000
東京支部総会資料購入費	0	0
百人百語	16,000	0
広報		0
Web		0
会維持・運営		
通信費	668	4,000
交通費	61,340	60,000
事務用品費	20,482	10,000
印刷費		0
雑費	9,400	12,000
事務局費		
委託費 (事務局/理事長)	770,000	759,000
Web改訂準備費	236,500	227,782
予備費 海外万博来場対応など	18,700	111,233
総計	1,752,994	1,856,233
当期収支差額	243,163	0
前期繰越金	455,189	455,189
次期繰越金	698,352	455,189

議案 3. 2025 年度 NPO MCEI 決算報告

(1) 事業報告書

令和 7 年度事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

特定非営利活動法人エムシーイーアイ

1 事業実施の成果

マーケティング研究会、勉強会ならびに提言集などの事業活動を行うことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【13,017】千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
研究会と勉強会	先進マーケティングの研究会	年間 24 回	首都圏・近畿圏を中心に全国	20 人	東京 420 人 大阪 412 人 延べ 832 人	3,722
	マーケター養成の勉強会	年間 9 回	首都圏中心に全国	10 人	延べ 126 人	2,395
	AI 活用マーケティング実践研究	年間 2 回	首都圏	4 人	11 人	447
	CMO 人材育成プログラム講演録監修委託	15 講座	首都圏	2 人	30 人	3,020
広報出版	定例研究会報告とマーケティングの情報発信	随時	ネット発信	2 人	延べ 3,600 人	1,620
	マーケティング提言集の発行	12 月	首都圏・近畿圏を中心に全国	3 人	800 人	1,813
国際交流	ビジネス交流会	なし		0 人	0 人	0

(2) 活動報告書

令和7年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

自令和7年4月1日 至令和8年3月31日 特定非営利活動法人エムシーイーアイ

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		13,888,323
正会員受取会費	13,888,323	
2 受取寄附金		0
3 受取助成金等		0
4 事業収益		8,321,600
マーケティングの研究会や勉強会の開催	4,221,600	
マーケティングを普及させるための広報出版活動	4,100,000	
マーケティングの分野における国際交流	0	
5 その他の収益		57,305
受取利息	30,704	
雑収入	26,601	
経常収益計		22,267,228
【B】 経常費用		
1 事業費		5,940,912
(1) 人件費		5,940,912
給料手当	4,309,200	
役員報酬	1,050,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	581,712	
(2) その他経費		7,076,533
会議費	0	
旅費交通費	78,040	
通信費	296,893	
事務用品費	79,161	
印刷製本費	304,988	
地代家賃	943,629	
コピー機賃借料	45,540	
人材育成セミナー	862,860	
租税公課	153,600	
定例マーケティング勉強会	2,440,026	
講演録原稿料	0	
会員向け広報誌	0	
受託業務原稿料製本料	1,738,397	
新聞図書費・書籍購入費	0	
消耗品費	31,879	
雑費	101,520	
事業費計		13,017,445
2 管理費		2,272,728
(1) 人件費		2,272,728
役員報酬	1,050,000	
給料手当	1,077,300	
退職給付費用	0	
福利厚生費	145,428	
(2) その他経費		1,665,943
水道光熱費	0	
通信運搬費	0	
地代家賃	943,629	
旅費交通費	408,046	
減価償却費	0	
支払報酬	314,268	
管理費計		3,938,671
経常費用計		16,956,116
当期経常増減額【A】-【B】・・・①		5,311,112
【C】 経常外収益		
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③		5,311,112
法人税、住民税及び事業税・・・④		482,200
前期繰越正味財産額・・・⑤		10,830,011
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		15,658,923

(3) 貸借対照表

令和7年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人エムシーイーアイ

科目	金額(単位:円)		科目	金額(単位:円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	20,466		未払金	358,134	
普通預金	17,390,525		前受金	8,840,000	
前払費用	376,279		未払費用	66,000	
未収入金	3,197,187		未払消費税	151,200	
			未払法人税等	482,200	
			流動負債合計		9,897,534
流動資産合計		20,984,457			
			2 固定負債		
2 固定資産					
敷金	572,000		固定負債合計		0
出版事業積立預金	4,000,000		負債合計		9,897,534
固定資産合計		4,572,000			
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	10,830,011	
			当期正味財産増減額	4,828,912	
			正味財産合計		15,658,923
資産合計		25,556,457	負債及び正味財産合計		25,556,457

(4) 財産目録

令和7年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人エムシーイーアイ

科 目	金 額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	20,466		
普通預金 (みずほ銀行麹町支店)	16,310,173		
普通預金 (みずほ銀行南船場支店)	1,080,352		
前払費用 (定例会会場費他)	376,279		
未収金 (委託金他)	3,197,187		
流動資産合計		20,984,457	
2固定資産			
敷金 (東京支部事務所)	572,000		
出版事業積立預金	4,000,000		
固定資産合計		4,572,000	
資産合計			25,556,457
II 負債の部			
1流動負債			
未払金 (講演料他)	358,134		
前受金 (東京・大阪支部年会費)	8,840,000		
未払費用 (大阪・事務局費他)	66,000		
未払消費税	151,200		
未払法人税等	482,200		
流動負債合計		9,897,534	
2固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			9,897,534
正味財産			15,658,923

議案 4-1. 監査報告書

(東京)

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人エムシーイーアイの令和7年度における事業執行状況、収支決算並びに貸借対照表、財産目録について監査を行ったところ、いずれも適正に執行され過誤ないものと認めます。

令和8年 5 月 29 日

監 事 本 田 健



議案 4-2. 監査報告書

(大阪)

監査報告書

特定非営利活動法人エムシーイーアイ大阪支部の令和7年度における事業執行状況、
収支計算ならびに貸借対照表について、令和8年5月7日に監査を行いました。
いずれも適正に執行され過誤無いものと認めます。

令和8年5月7日

監事 井上 英司 

議案 5. 2026 年度 東京支部・大阪支部 活動方針

[1] 東京支部活動方針

2026 年度は「中期計画」の最終年。2025 年度の実践から見えてきたこと・進むべき道筋をさらに強化し、成果に結びつけることを一義とする。

① MCEI 独自価値づくり

- ・ MCEI 提言については、引き続き MCEI の象徴として内容を進化
年間の通常業務化・常にヒントが集まる工夫と、それをもとに構成
- ・ 2024 年度に整理した「独自価値・5 つの基本認識」の更なる実践での具体化
定例研究会をはじめとする MCEI 諸活動で取り上げ、会員への認知拡大と事例との出会いの場を多くつくる

② MCEI ファン層の拡大に向けて

- ・ 「ありたい姿」を実現するには「MCEI 会員の活性化」が必要不可欠と考える。「新会員の増加」と「現会員のイベント参加率 UP」の 2 軸を強化していくことで、「ファン獲得」に向けた目的を達成する。そのための新たな委員会を立ち上げる。この委員会においてメンバーを選定し、具体的な活動や議論、計画、実行に移す。
- ・ 各リーダーが中心となって会員活性を推進し、活動内容はそれぞれで決定する。予算が必要な場合は事務局に申請、承認のルートを作る。

③ 情報発信強化

- ・ SNS やホームページの頻度については継続
- ・ その活性化(閲覧者数・反応など)の評価を記録し、ファン獲得・会員活性化を図る。

④ 中期方針の成果に向けて

上記①～③を成果レベルに引き上げ、それぞれの KPI の向上と KGI (会員数) 増加へ挑戦する。

【KGI】

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度目標
法人会員数	56	55	59	60
個人会員数	19	23	26	27

【KPI】

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度目標
定例研究会参加数	531	490	420	450
ビジネススクール受講者数	18	14	17	20
キーマンファン層候補者数(理事候補)	—	16	26	30
ファン層数	—	18	16	20
ファン候補者数	—	43	32	40

[2]各委員会の活動方針

(1) 未来推進委員会

前年度と同様に中長期計画の成果に向けた実践シナリオをつくり、そのP-D-Sを回し理事会に答申する。

- ・ MCEI 提言の活性度—作成プロセス・実践事例収集など
- ・ 定例研究会の活性化—コンテンツ充実・参加者の広がり促進
- ・ 協創プラットフォームの整備と充実—協創事例収集など
- ・ エンゲージメントステップアップ—その仕組づくりとファン層の拡大シナリオづくり
- ・ 新会員獲得—その方策・アプローチ
- ・ 情報発信強化—コンテンツづくり・頻度や活性度など

(2) ナレッジワーク委員会

ビジネススクール

27期は20名以上の参加を目標とする。現在の26期の結果を踏まえて、講演・PBL学習の内容のブラッシュアップ等も検討する。

(3) コミュニティ（会員の自主活動）

「会員各位の様々な期待と MCEI 機能とのマッチング、および会員間のコミュニケーションの活発化」を目的とした活動の場の提供を継続。

- ・ 会員主導の自主運営
- ・ 参加者のリーダーシップで運営
- ・ 事務局はその補佐と活動実施内容の発信
- ・ テーマは自然発生的にし、活動期間などは自由度を高める。

(4) 百人百語

今期も12月末に発行予定 投稿者100名必達

(5) 重点活動

①AI活用促進

1) AI活用マーケティング実践プログラム

プログラムの更なる進化を目指す。

2) AI活用よろず相談会

26年4月～7月実施

3) AI×データインサイト研究会

会員企業からの提案で実施決定。6月キックオフ予定。

②ウェルビーイング マーケティング

「ウェルビーイング発想のマーケティングを語りあう会」を継続。ウェルビーイングはすべてのマーケティングに通ずるテーマとして重要。会員が中心となって活動推進できる環境を整えていく。

(6) 国際

6月に台北支部理事メンバーが来日予定。6/22 総会後の定例研究会に参加し、理事長の蔡鴻賢氏（ポール・ツァイ氏）が「台湾のAI活用の取り組み」について登壇。その他東京支部会員企業訪問や夕食会も実施予定。また、東京支部理事メンバーとの会合を台北で行うことも計画中。

(7) 人事

①継続

氏名	役職	所属企業・団体
高津 尚子	理事長	日本製紙クレシア株式会社
宮地 雅典	専務理事兼事務局長	MCEI 東京支部
後藤 昭人	常務理事	花と緑の研究所株式会社
嶋司 貴裕	常務理事	株式会社 SHIMAGIC
増田 隆行	常務理事	全日本食品株式会社
越智 由香子	理事	大日本印刷株式会社
坂本 崇博	理事	コクヨ株式会社
竹内 仁孝	理事	株式会社千修
寺本 隆博	理事	カゴメ株式会社
中西 昇	理事	富士電機株式会社
船越 一博	理事	ハウスウェルネスフーズ株式会社
本田 健	監事	カルビー株式会社

②新任

氏名	新職	現職	所属企業・団体
斎藤 潤子	副理事長	常務理事	ランスタッド株式会社
河野 大輔	理事(代行)		株式会社ニチレイフーズ
高久 直也	理事(代行)		キリンビバレッジ株式会社
高橋 祐介	理事(代行)		サントリー株式会社
市川 英次	顧問	副理事長	湘南ヤクルト販売株式会社
小野 敏博	顧問	常任顧問(事務局担当)	MCEI 東京支部

③退任

氏名	現職	所属企業・団体
奥村 剛飛	理事	株式会社ニチレイフーズ
木暮 和樹	理事	キリンビバレッジ株式会社
矢島 裕基	理事	サントリー株式会社

【収支予算書 23 ページ参照】

以上

[3]大阪支部活動方針

<2026 年度 活動方針・テーマおよび予算について>

MCEI 大阪支部は、2026 年度も引き続き「対話」を年間テーマに掲げ、「Dialogue Osaka」をコンセプトとして、大阪・関西から多様な交流と学びの場を広げ、その実践と深化を目指してまいります。

企業・顧客・地域社会が率直に意見を交わし、相互理解を深めることで得られるインサイトは、新たなマーケティングや価値創出へとつながります。また、その積み重ねは、ブランドへの信頼や顧客ロイヤルティを育む大切な力になると考えています。

特に、リアルな場で顔を合わせて行うコミュニケーションは、人と人との関係を育み、地域社会のつながりや共感を生み出します。そこから広がる共感の連鎖は、企業と生活者がともに価値を創る「共創」の基盤になるものと考えています。

さらに 2026 年度は、AI をはじめとするテクノロジーとの「対話」にも視野を広げます。人と人、人と社会、そして AI との関係性の中から新たな視点や発想を得ながら、次代のマーケティングの可能性を探ってまいります。

2026 年度予算案につきましては別表をご参照ください。法人会員数の減少など厳しい状況は続きますが、引き続き運営面での工夫を重ねながら、安定した活動継続を目指してまいります。また、今期も 情報工房株式会社より多くの月で会場をご提供いただけることとなり、深く感謝申し上げます。

なお、長期間にわたり運営経費削減に努めてまいりましたが、持続的な運営体制維持のため、理事長委託費について一部見直しを行います。また、今期は Web サイトリニューアルの最終整備費用も計上しております。

引き続き、リアル会場とオンラインを組み合わせた運営を継続しながら、新たな参加者との出会いや交流を広げ、会員の皆様の日々の仕事や活動に役立つ場づくりを目指してまいります。

2026 年度も、MCEI 大阪支部の活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【収支予算書 24 ページ参照】

2026 年度 MCEI 大阪支部運営体制

【運営検討委員会】	理事長（理事）	藤村 滋弘	BEYOND BORDERS
	委員	伯井 裕子	（株）萌企画
	委員	大當 由香里	TOPPAN（株）
	委員	柴田 咲子	TOPPAN（株）
	委員	曾田 義嗣	（公社）才能教育研究会
	事務局長（理事）	齋藤 秀雄	（株）ISSO
【監事】		井上 英司	石光商事（株）
【顧問】		橋詰 仁	

議案 6-1. 2026 年度 東京支部収支予算書

<東京支部(2026年4月1日～2027年3月31日)>

*MCEI内部では使い慣れた西暦を使うが、官公庁提出用には元号を使う。

収 入

支 出

I. 一般会計	【'25実績】	【'26予算】
年会費	11,049,990	11,400,000
法人60社		
個人27名	1,255,000	1,500,000
特別会費	0	0
納会個人		
コミュニケーションサロン	319,000	350,000
MCEIサロン	72,000	100,000
事業収入	54,000	30,000
定例研ビジターフィー		
出版収入	0	0
百人百語販売		
大阪支部	16,000	15,000
(相殺)		
その他収入	0	0
一般会計合計	12,765,990	13,395,000

II. プロジェクト別会計	【'25実績】	【'26予算】
ビジネススクール(第27期)	3,366,000	3,960,000
価値協創実践研究会	0	0
プロジェクト別会計合計	3,366,000	3,960,000

III. その他	【'25実績】	【'26予算】
早稲田CMOプログラム 業務委託	4,100,000	4,100,000
早稲田ライフデザインカレッジ 業務委託		500,000
国際マーケティング会議	0	0
書籍収入(プロフェッショナル marketer)	0	0
雑収入(未払金戻り他)	26,601	0
受取利息	28,480	0
その他合計	4,155,081	4,600,000

I～III総計	20,287,071	21,955,000
---------	------------	------------

【東京支部計算書の説明】

■収入の部

I. 一般会計

会費収入 目標：法人60社、個人27名
(25年実績：法人59社、個人26名)

II. プロジェクト別会計

ビジネススクール27期 目標：20名

III. その他

早稲田CMOプログラム 受講生勧誘協力費 110万円
同 講演資料教材監修費 300万円
早稲田ライフデザインカレッジ 業務委託料 50万円

■支出の部

I. 一般会計

理事会・委員会 理事、委員活動強化費を加算計上
事務用品費 パソコン買換え代を加算計上
通信費 オンラインセキュリティ強化分を加算計上
税理士報酬 法人税等申請手続手数料分を加算計上
家賃 契約更新料 家賃1か月分を加算計上
法人税等 早稲田CMOプログラム等委託業務課税分を計上

III. その他

早稲田CMOプログラム支出
 講演録原稿作成料 支払代行 15名分 180万円
 講演録冊子作成代 8万円
国際マーケティング会議
 台北出張代を計上
会員活性化委員会
 活動費として 20万円計上

I. 一般会計	【'25実績】	【'26予算】
定例活動		
納会	0	0
コミュニケーションサロン	33,451	50,000
MCEIサロン	19,105	30,000
理事会・委員会	39,476	300,000
定例研究会	861,890	1,000,000
百人百語	280,500	350,000
広報	0	0
ホームページ	627,000	650,000
定例活動合計	1,861,422	2,380,000
会維持・運営		
旅費交通費	16,700	20,000
事務用品費	58,679	400,000
印刷費	298,848	300,000
通信費	296,225	400,000
税理士報酬	314,268	395,000
雑費	92,120	100,000
新聞図書費	0	0
書籍購入費	0	20,000
消耗品費	31,879	50,000
賃借料(コピー機)	45,540	50,000
会維持・運営合計	1,154,259	1,735,000
事務局費		
法定福利費	727,140	800,000
委託費	0	0
交通費	408,046	370,000
家賃(含水道光熱費)	1,887,258	2,100,000
役員報酬	2,100,000	2,400,000
給料	4,320,000	4,320,000
事務局費合計	9,442,444	9,990,000
その他		
寄付金	0	0
租税公課	153,600	150,000
法人税等	482,200	500,000
その他合計	635,800	650,000
一般会計合計	13,093,925	14,755,000

II. プロジェクト別会計	【'25実績】	【'26予算】
ビジネススクール(第27期)	862,860	1,000,000
イノベーターズワークショップ	0	0
価値協創実践会	0	0
プロジェクト別会計合計	862,860	1,000,000

III. その他	【'25実績】	【'26予算】
早稲田CMOプログラム 支出	1,738,397	2,000,000
国際マーケティング会議	0	400,000
新理事長就任関係	6,140	0
会員活性化委員会	0	200,000
その他合計	1,744,537	2,600,000

IV. 予備費	【'25実績】	【'26予算】
予備費	0	2,000,000
予備費合計	0	2,000,000

I～IV総計	15,701,322	20,355,000
収支差額	4,585,749	1,600,000
前期繰越金	5,802,822	10,388,571
次期繰越金	10,388,571	11,988,571

議案 6-2. 2026 年度大阪支部 収支予算書

<大阪支部(2026年4月1日～2027年3月31日)>

収 入			支 出		
I. 一般会計			I. 一般会計		
	【2025年実績】	【2026年予算】		【2025年実績】	【2026年予算】
年会費法人	1,012,500	900,000	理事会・委員会		0
年会費個人	570,833	600,000	定例研究会	294,333	400,000
ゲスト参加費	226,116	250,000	定例研究会会場費ほか	107,616	180,000
水口ゼミ参加費	16,984	20,000	第2部費用 (おつまみなど)	157,955	90,000
第2部参加費	167,500	100,000	百人百語	16,000	15,000
受取利息	2,224	0	広報	0	0
			Web運用費	0	0
総計	1,996,157	1,870,000	維持・運営		
			通信費	668	2,000
			交通費	61,340	80,000
			事務用品費	20,482	15,000
			印刷費		0
			雑費	9,400	10,000
			事務局費		
			事務局委託費	770,000	792,000
			理事長委託費	60,000	110,000
			Web移設費	236,500	150,000
			予備費	18,700	26,000
			総計	1,752,994	1,870,000
			当期収支差額	243,163	0
			前期繰越金	455,189	698,352
			次期繰越金	698,352	698,352

【大阪支部収支予算書の説明】

■収入の部

- ①年会費は法人6社(1社減)、個人9名、シニア5名
シニア会員は2026年度より新規募集停止。

■支出の部

- ①定例研究会予算は講師謝礼12名分
②定例研究会会場費4会場分など
8会場は協力企業会場あるいは野外研修
③百人百語購入費は2年分
④事務局費について
・委託費は理事長・(株)ISSOへの支払
・委託費の減額は継続するが、
理事長委託費を6月より月1万円に回復。
⑤TSCのサービス終了に伴うWebの移設完了を6月に実施予定。



TOKYO / OSAKA

*MCEI is people, MCEI is education, MCEI is information,
MCEI is recognition, MCEI is professionalism*

**いま、一番知りたいテーマについて
いま、一番議論したい人たちと議論できる
マーケティングを学ぶ人々に広く門戸を開放した組織
それが“MCEI”**

MCEIとは

MCEIは、マーケティングを学ぶ国内及び海外の人々を支援する事業を行い、広く門戸を開放し、生涯学習教育に寄与し、人々の豊かな暮らしを実現することを目的とする組織です。

スイスのジュネーブに国際本部があり、世界各地の支部がマーケティングを通じて交流しています。

MCEIの歴史

MCEIの源は、1954年アメリカのニューヨークでセールスプロモーションの実務家が集まり、まだ体系化されていないノウハウの交流をはじめた組織に端を発します。

日本では、渡米研修した故・水口健次氏(元MCEI東京支部創設理事長)が、1969年東京支部を設立、以来約40年間非営利のマーケティング研究組織として、会員のボランティアにより運営されてきました。この間1972年には大阪にも支部を設立しました。

毎月の研究会開催、毎月の機関誌の発行、毎年会員の提言集「百人百語」の発行、海外からの留学生対象の懸賞論文募集と表彰、海外研修ツアーの実施、国際大会、アジア大会の開催・参加等幅広い活動を行い、マーケターの養成、国際交流に努めてきました。

東京支部は、設立以来このような活動を続け、世界の各支部から最もエキサイティングな支部と評価されています。

特定非営利活動促進法が施行され、この素晴らしい組織を永續ならしめるため、大阪支部と一緒に2001年にNPO法人を設立しました。